

校長室より

令和5年5月19日(金)

「憧れるのをやめましょう」



先日、放送部から新任の先生方へのインタビューがありました。その中で、「最近一番衝撃的だったことは何ですか。」という質問がありました。いろいろ迷ったあげく、私は「3月のWBC（ワールド ベースボール クラシック）の決勝で、大谷翔平選手が大リーグのチームメイトであるマイク・トラウト選手から三振を奪って優勝した場面」と答えました。

大会MVPに選ばれた大谷選手は、プレーではもちろんですが、彼はプレー以外のところでもチームに貢献していました。それは…

大谷選手はアメリカとの決勝戦の前、円陣の声出してこう言ったのです。

「憧れるのをやめましょう。憧れてしまったら、超えられない。憧れを捨てて、勝つことだけ考えましょう。」

スター軍団がそろそろ野球王国アメリカに戦いを挑むというときに、つい弱気な気持ちになったり、アメリカ相手なら負けても仕方がないとかアメリカと試合ができるだけでも幸せだと思っていた選手もいたはずです。

ほとんどの日本人は体格面やパワーで劣る。だが、誰でも心は強くいられる。この大谷選手の強いメッセージが日本を優勝に導いてくれたのでしょう。

私が4月に生徒たちに伝えた【挑戦】も同じです。私たちは自分の中で、勝手に「ぼくにはできない。」「私には無理。」「目標が遠くて手が届かない。」とあきらめていることはありませんか。

失敗を成長と考え、とことんやってみる。いくつになっても心は強く持ちたいものですね。